平成 27 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 27 年 8 月 26 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・教授

申 請 者 名 黒沢高秀



助成事業の区分 (該当するものに〇印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事 業 名	水草研究会第 37 回全国集会(福島)
事業実施期間	平成 27 年 8 月 22 日~ 平成 27 年 8 月 24 日
	福島大学共通講義棟において水草研究会第 37 回全国集会,総会を開催した。また、2 日目にはエクスカーションを、3 日目には福島大学共生システム理工学類生物標本室 FKSE 見学・調査会を開催した。多くの参加者を得て、活発な議論が行われた。概要は以下の通り。
成果の概要	8月22日(土)役員会,総会,口頭発表,ポスター発表 10:00 役員会 12:00 受付開始 13:00 総会 13:30 口頭発表 15:45 ポスター発表(~17:00) 8月23日(日)エクスカーション 8:45 福島駅西口出発 10:00 裏磐梯秋元湖(イトイバラモなどの観察) 12:00 昼食 昼食後 裏磐梯レンゲ沼(マルバオモダカなどの観察) 14:30 猪苗代町翁島ため池(タヌキモなどの観察) 15:10 猪苗代湖松橋浜(アサザなどの観察) 16:30 郡山駅着 17:30 福島駅着・解散 8月24日(月)標本室 9:00 集合,標本室見学・調査 10:30 解散(調査している人はその後も継続)
	講演数:口頭発表 8件,ポスター発表:5件 参加者数:事前予約参加者 64名(一般参加 47名(エクスカーションのみ参加の3名を含む),学生(学部生・大学院生)17名),当日参加者 1名,合計65名
	大会の詳細は大会専用 HP でも公開している。 http://www.research.kobe-u.ac.jp/sci-kadono/mizuken37. html

水草研究会第 37 回全国集会(福島) 研究発表要旨集

会期: 2015年8月22~24日(土~月)

会場:福島大学金谷川キャンパス, L4 教室

主催: 水草研究会第37回全国集会実行委員会

後援:福島大学

福島大学資料研究所 (標本室見学・調査会)

助成:福島大学学術振興基金

水草研究会第 37 图全国集会(福島) 研究発表要言集

(1) 2001年4月22~20日(十・年)日 と母、結構以中分が加まって、フィン、しょ影響 と解し水道が高き第37両全国場合ので美子 を対する場合のはなり、

全直机。学品学本教》而学到以资学大良职 心态规注律学学大良部、流成

水草研究会第37回全国集会(福島)

研究会会長:角野康郎 大会会長:薄葉満

日時・スケジュール 2015 年 8 月 22 日 (土) ~24 日 (月)

8月22日(土) 総会・研究発表会・懇親会

12:00- 受付(福島大学金谷川キャンパス L4 教室)

13:00-13:30 総会

13:30-15:45 口頭発表

15:45-17:00 ポスター発表

18:00-20:00 懇親会

8月23日(日) エクスカーション (18ページ参照)

8:45- 福島駅西口出発

10:00-11:30 裏磐梯秋元湖 (イトイバラモ, エゾノヒルムシロ, ヒルムシロ属雑種など)

12:00-14:00 昼食・裏磐梯レンゲ沼(マルバオモダカ,オヒルムシロ,ヒメタヌキモなど)

14:30-14:50 翁島ため池 (タヌキモ, ツルアブラガヤなど)

15:10-15:30 猪苗代湖松橋浜 (アサザ, コウホネなど)

16:30 郡山駅着

17:30 福島駅着・解散

8月24日(月) 標本室見学・調査(希望者のみ)(共生システム理工学類研究実験棟7階) 9:00・ 自由解散

標本室見学および標本調査の申込をされた方は、9時以降に標本室に直接お出でいただくか、10時に大学構内の受付があった場所(L4教室前)に集合してください。集合に遅れた場合は、024-548-8201に連絡してください。当日参加も歓迎です。

会場 (総会・研究発表会)

福島大学金谷川キャンパス

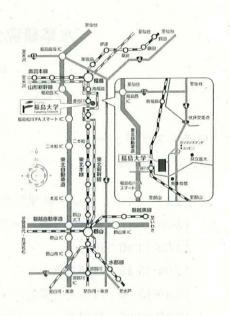
〒960-1296 福島県福島市金谷川1

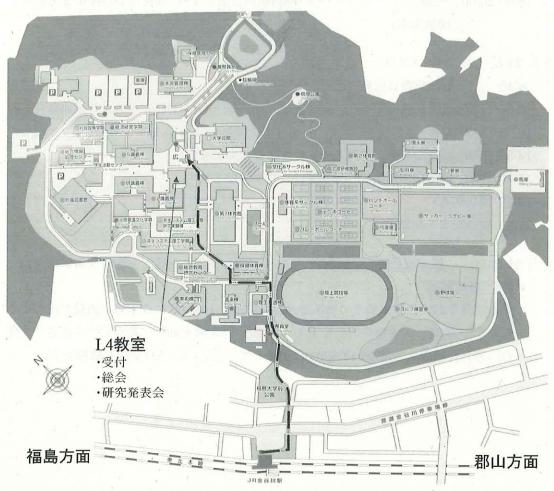
Tel.024-548-8201

http://www.fukushima·u.ac.jp/new/18·koutu/index.html アクセス

大会会場の福島大学は JR 東北本線金谷川駅(福島駅から2駅東京側)より徒歩10分ほどです。

車での来場も可能です。福島西インターから 30 分,福島松川 PA インター(ETC 専用)から 15 分ほどです。大学への入り口がわかりにくいのでご注意下さい。ゲートで警備員に停められた際は、学会参加者である旨お伝えください。





※懇親会場とエクスカーション予定地については、それぞれ別紙と要旨集末尾を参照

水草研究会第37回全国集会(福島)研究発表会プログラム

口頭発表 (13:30-15:45) *発表者

セッション1 座長:志賀隆

- 1. 琵琶湖に定着した侵略的外来水草オオバナミズキンバイ(広義)の分類 *¹稗田真也・²金子有子・³中川昌人・¹野間直彦(¹滋賀県立大・環境科学,²琵琶湖環境科学研究センター・東洋大,³岡山県農林水産総合センター・生物科学研究所)
- 2. 水生植物ヒメガマの種子発芽特性における集団間変異 *倉園知広・角野康郎(神戸大・理・生物)
- 3. 水田でみられるイバラモ属 (Najas) の生育環境に関する考察 *嶺田拓也(農研機構・農村工学研究所)
- 4. ホザキノフサモに付着した懸濁物について *長谷川裕弥・吉澤一家(山梨県衛生環境研究所)

—— 休憩 14:30-14:45 ——

セッション2 座長:山崎真実

- 5. 日本にトゲホザキノフサモは生育するのか?*志賀 隆(新潟大・教育)
- 6. 千葉県手賀沼における過去の湖沼環境の推定 -特に帯状分布との対応について-*山ノ内崇志・西廣 淳(東邦大・理)
- 7. 湧水河川における外来水生植物の現状 *角野康郎(神戸大・理・生物)
- 8. 裏磐梯の水生植物とその変遷 -30年間で失われた水草,新たに見つかった水草-*首藤光太郎・黒沢高秀(福島大・共生システム理工)

ポスター発表 (15:45-17:00)

- P1. カワヂシャを用いた化学物質の影響評価法 *加藤貴央・石原 悟((独)農林水産消費安全技術センター農薬検査部)
- P2. 山梨県富士五湖の水草・大型藻類と湖水環境に関する既往資料解析 *中村誠司・上嶋崇嗣・渡邉亮・芹澤(松山)和世・芹澤如比古(山梨大・教育)
- P3. 山梨県富士五湖に現在生育する水草・大型藻類とその光環境 *上嶋崇嗣・中村誠司・渡邉亮・渡邊広樹・佐野英樹・田口由美・白澤直敏・佐藤裕一・深代牧子・ 土屋佳菜・芹澤(松山)和世・芹澤如比古(山梨大・教育)
- P4. 猪苗代湖の水生植物相の過去からの変化と現在の危機的な状況 *¹黒沢高秀・¹荒井浩平・¹難波謙二・²薄葉満・³鬼多見賢・⁴林義昭(「福島大・共生システム理工、² 水草研究会、³猪苗代湖の自然を守る会、⁴福島大・教育)
- P5. ため池の管理放棄による植物群集の機能的変化 *1外山 史也・12赤坂 宗光(1農工大・農学府, 2 School of Biological Sciences, The University of Oueensland)

発表要領

口頭発表

- 1. 発表時間は, 講演と質疑応答をあわせて 15 分です。
- 2. 液晶プロジェクターを使用しますが、発表用のパソコンは各自ご用意していただくか、準備委員会が用意したもの(OS は Windows)をご使用ください。会場の液晶プロジェクターとパソコンを接続するケーブルのコネクタは、一般的なもの(D-Sub15 ピン、ミニ)です。お持ちのノートパソコンの映像出力端子が異なる場合は、接続アダプタをご用意ください。
- 3. 予想外のトラブルに備え, 発表用のファイルを USB メモリー等に入れてお持ちください。

ポスター発表

- 1. パネルの大きさは、縦 175cm×横 85.5cm で、A0 サイズが掲示できる大きさです。
- 2. ポスターは8月22日13:30(口頭発表開始時)までに、ポスター会場の指定された場所に掲示して下さい。画鋲等は会場に準備します。
- 3. ポスターの撤去は、8月22日の研究発表会終了時間(17:00 すぎ)までに行ってください。

その他注意事項

- ✓ 大学周辺には、昼食を取れるような飲食店がほとんどありませんので、ご注意ください。なお、 22 日は、大学生協が営業しています。
- ✓ 会場まで JR でお越しの方は、東北本線の本数が少ないため、ご注意ください(以下参照)。

JR 東北本線時刻表

上り(7:30~16:00)		下り(12:00~22:00)	
福島駅発	金谷川駅着	金谷川駅発	福島駅着
8:43	8:54	14:16	14:26
9:37	9:47	14:45	14:55
10:28	10:38	15:30	15:40
11:04	11:14	16:16	16:27
11:34	11:44	16:49	16:59
12:26	12:35	17:21	17:31
13:30	13:40	17:51	18:02
14:20	14:29	18:22	18:32